

# 新型コロナウイルス 感染症対策

在宅医療介護連携相談センター  
Web研修

群馬大学医学部附属病院 感染制御部

感染管理認定看護師 山田まり子

# 本日のお話

- 👑 新型コロナウイルス  
（COVID-19）の概要
- 👑 感染対策の基本
- 👑 COVID-19における感染対策
- 👑 日頃の備え

# 本日のお話

👑 新型コロナウイルス  
（COVID-19）の概要

👑 感染対策の基本

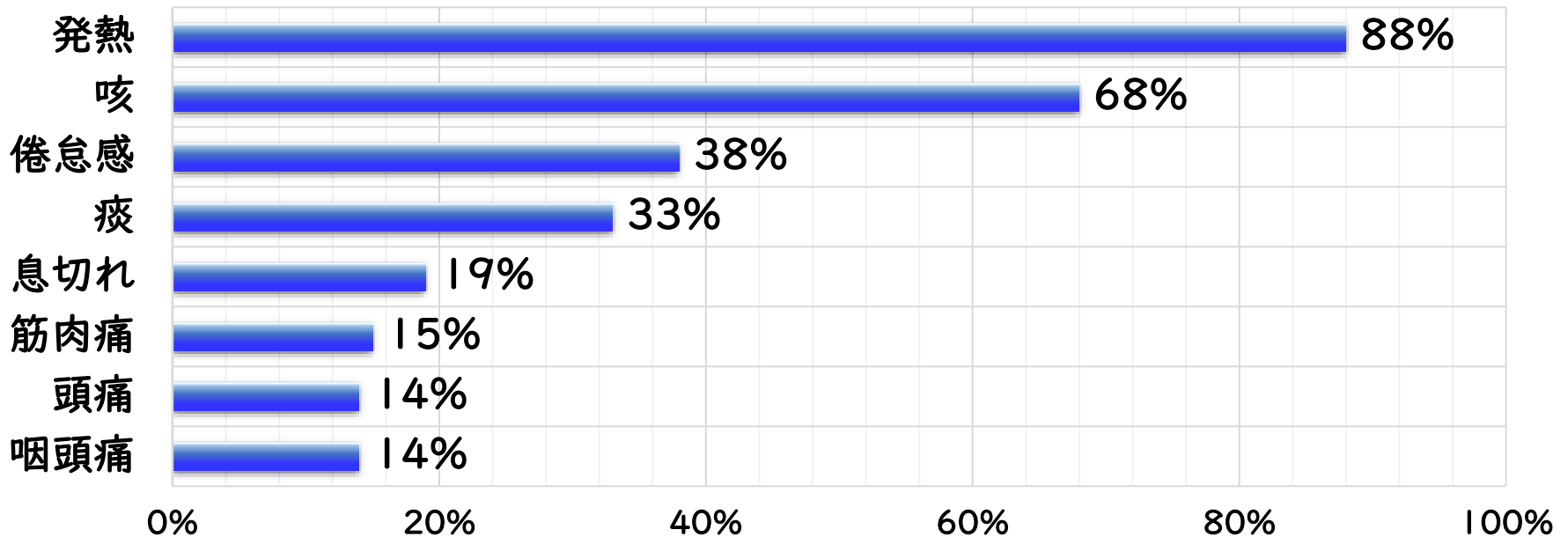
👑 COVID-19における感染対策

👑 日頃の備え

# コロナウイルス感染症

病名	かぜ (ヒトコロナウイルス感染症)	SARS (重症急性呼吸器症候群)	MERS (中東呼吸器症候群)	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)
原因ウイルス	HCoV(4種類)	SARS-CoV	MERS-CoV	SARS-CoV-2
宿主動物	人	キクガシラコウモリ	ヒトコブラクダ	不明
感染者数	かぜの10-15%	8,098(終息)	2,494	72,221,634 (2020/12/15時点)
感染力	1人→多数	1人→2~5人	1人→1人未満	1人→2~3.5人
		スーパースプレッダーから多数への感染拡大		
致死率	極めて稀	9.6%	34.4%	2.8%
潜伏期間	2~4日	2~10日	2~14日	1~14日 (5日前後発症)
感染症法	なし	二類感染症	二類感染症	指定感染症
感染経路	飛沫感染・接触感染(直接、間接)			

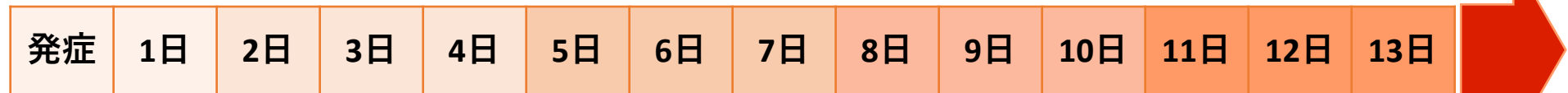
# 症状



## <特徴>

- 👑 症状は通常のかぜやインフルエンザによく似ているが、症状が続く期間がそれらと比べ長い
- 👑 イタリアの報告では33.9%の患者に味覚異常または嗅覚異常が認められた（特に若年者、女性に頻度が高い）
- 👑 無症状であってもCT上肺炎像を認めることが多い

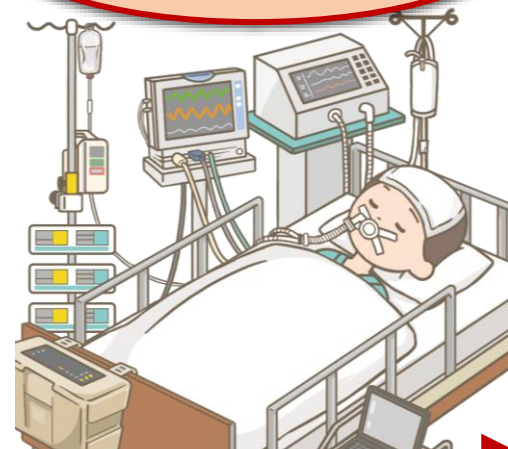
# 経過



80%  
軽症

20%  
中等症

5% 重症  
(2~3% 致命的)



1~2週間程度症状は継続するが、入院治療の必要はなくそのまま改善

- ・ 咳症状
- ・ 味覚、嗅覚異常

1週間~10日程度で症状が悪化し入院加療が必要

- ・ 呼吸困難(酸素が必要)
- ・ 咳、痰増加

10日以降急激に悪化

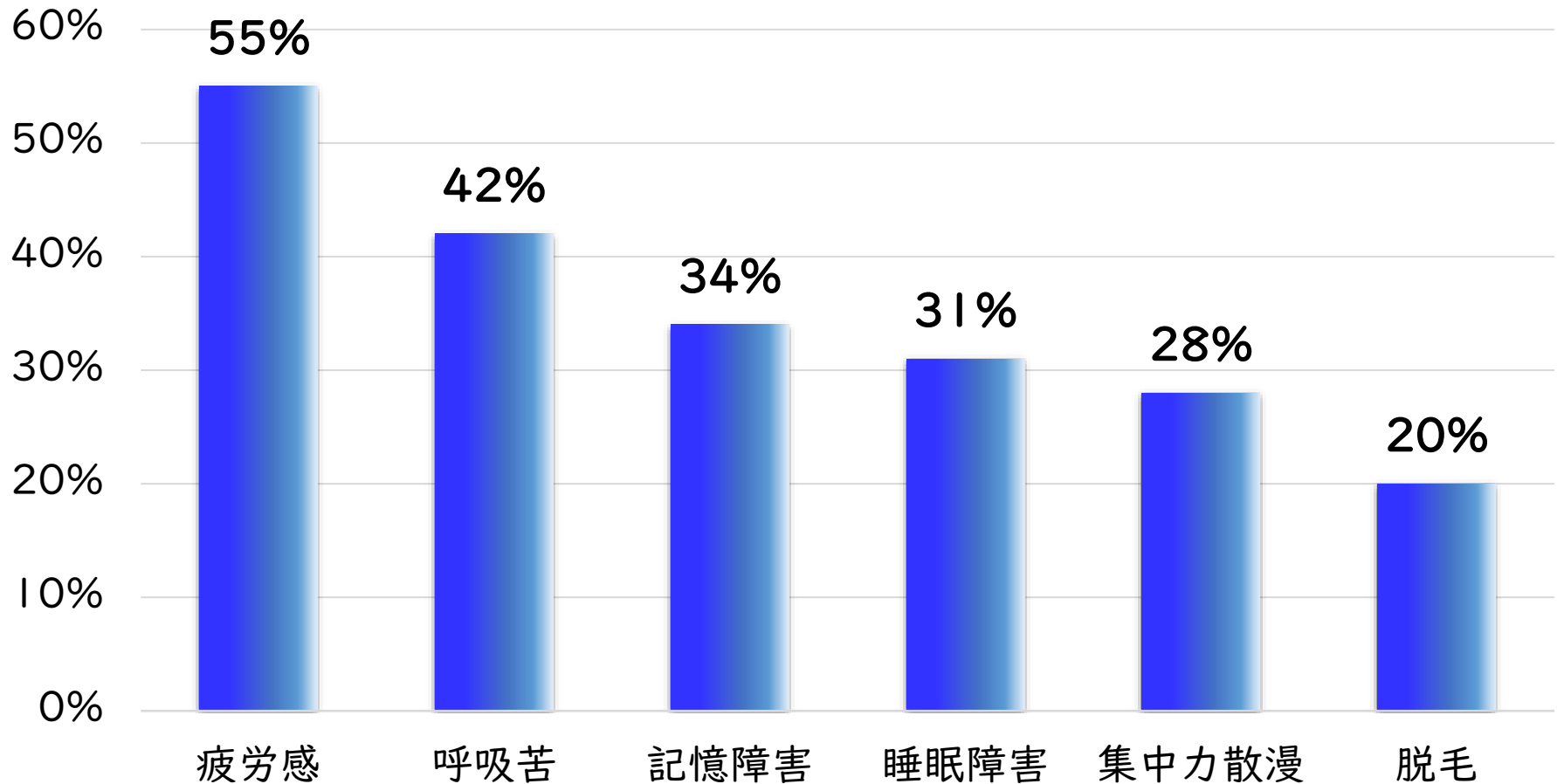
- ・ ARDS
- ・ 多臓器不全
- ・ DIC

# 重症化しやすい人

- ❖ 65歳以上
- ❖ 重度な肥満  
(BMI30以上)
- ❖ 女性より男性
- ❖ 慢性呼吸器疾患
- ❖ 喫煙者
- ❖ 心血管疾患
- ❖ 免疫不全者
- ❖ 高血圧
- ❖ 糖尿病
- ❖ 慢性腎疾患
- ❖ 透析
- ❖ 肝疾患



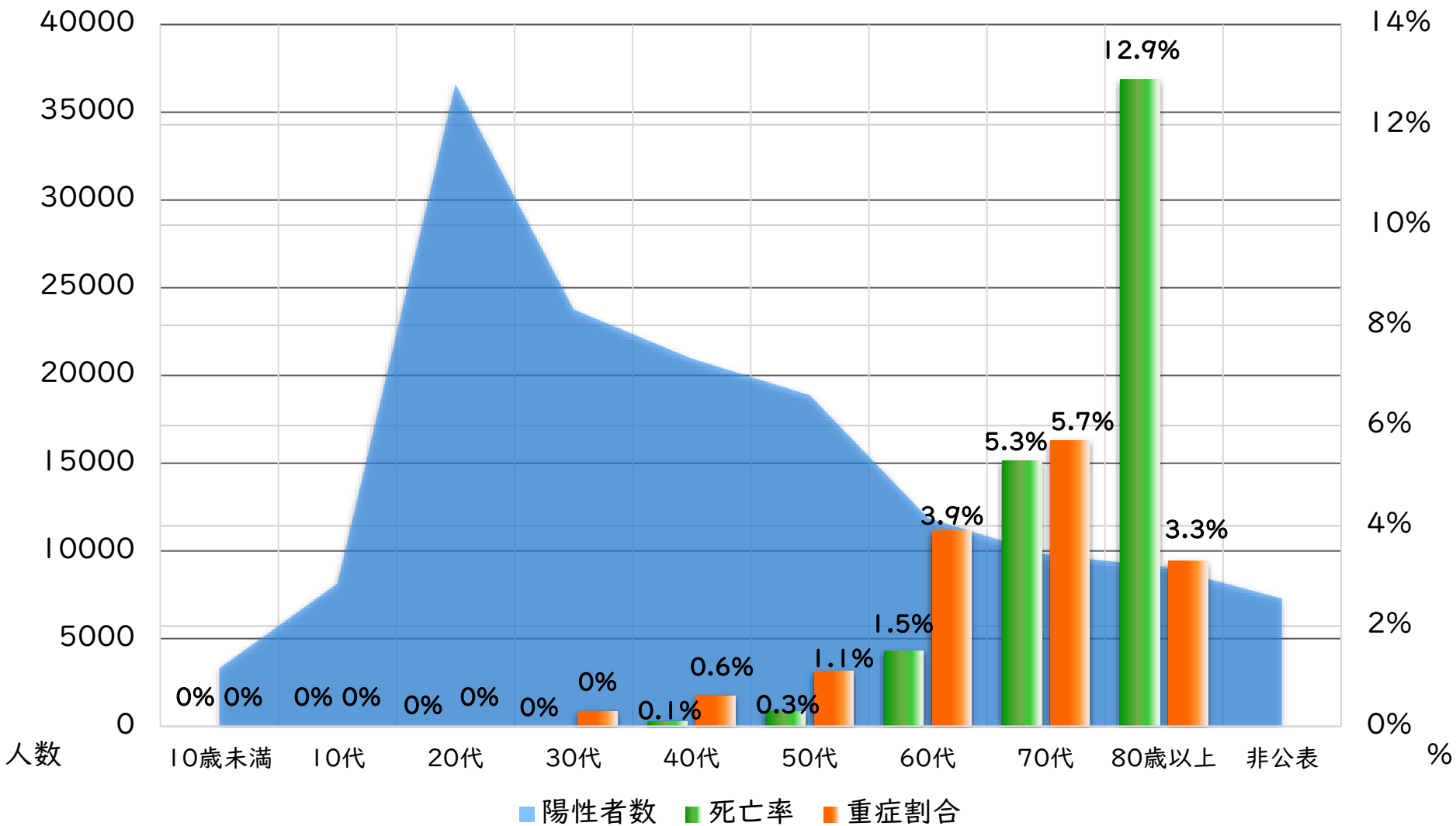
# 後遺症：発症から110日以上続いた症状



👑 フランスから、脱毛、記憶障害、集中力散漫といった急性期には見られなかった症状も後遺症として報告されている

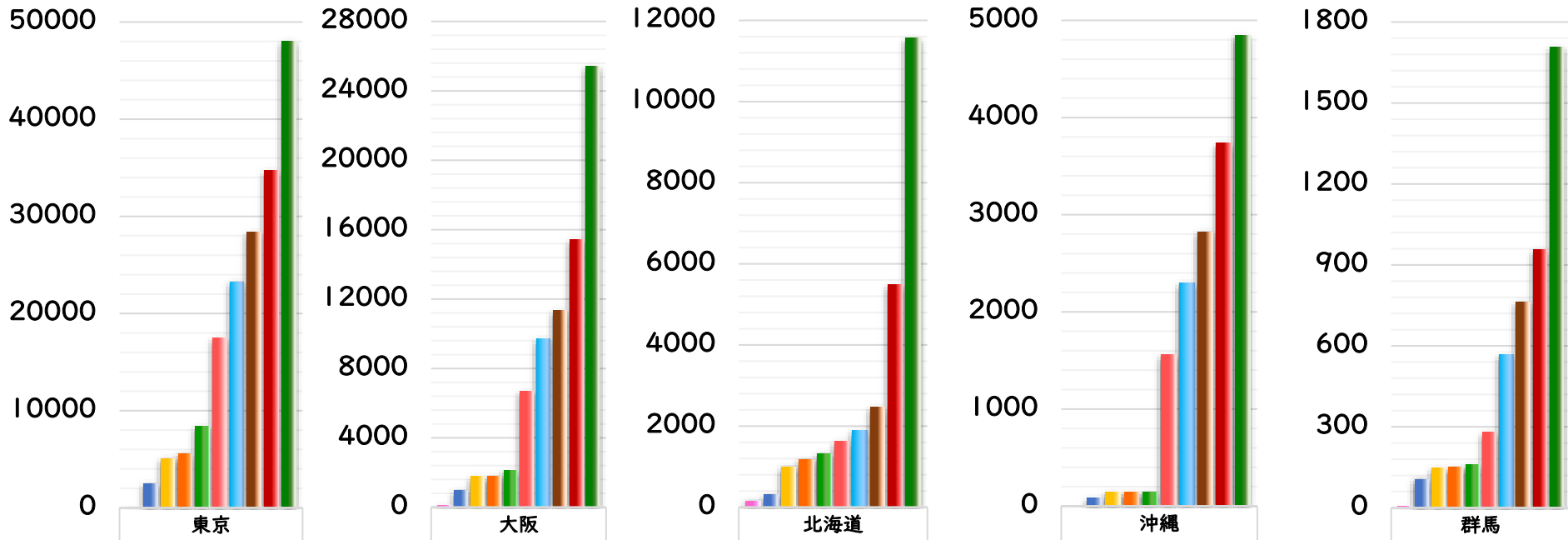


# 年齢別 国内発生動向



厚生労働省 国内発生動向 (2020/12/2 18時時点) より作成

# 都道府県ごとの感染者数の推移



日付	東京
3月15日	90
4月15日	2510
5月15日	5078
6月15日	5587
7月15日	8354
8月15日	17454
9月15日	23274
10月15日	28417
11月15日	34749
12月15日	47990

日付	大阪
3月15日	106
4月15日	968
5月15日	1768
6月15日	1787
7月15日	2126
8月15日	6698
9月15日	9725
10月15日	11361
11月15日	15421
12月15日	25420

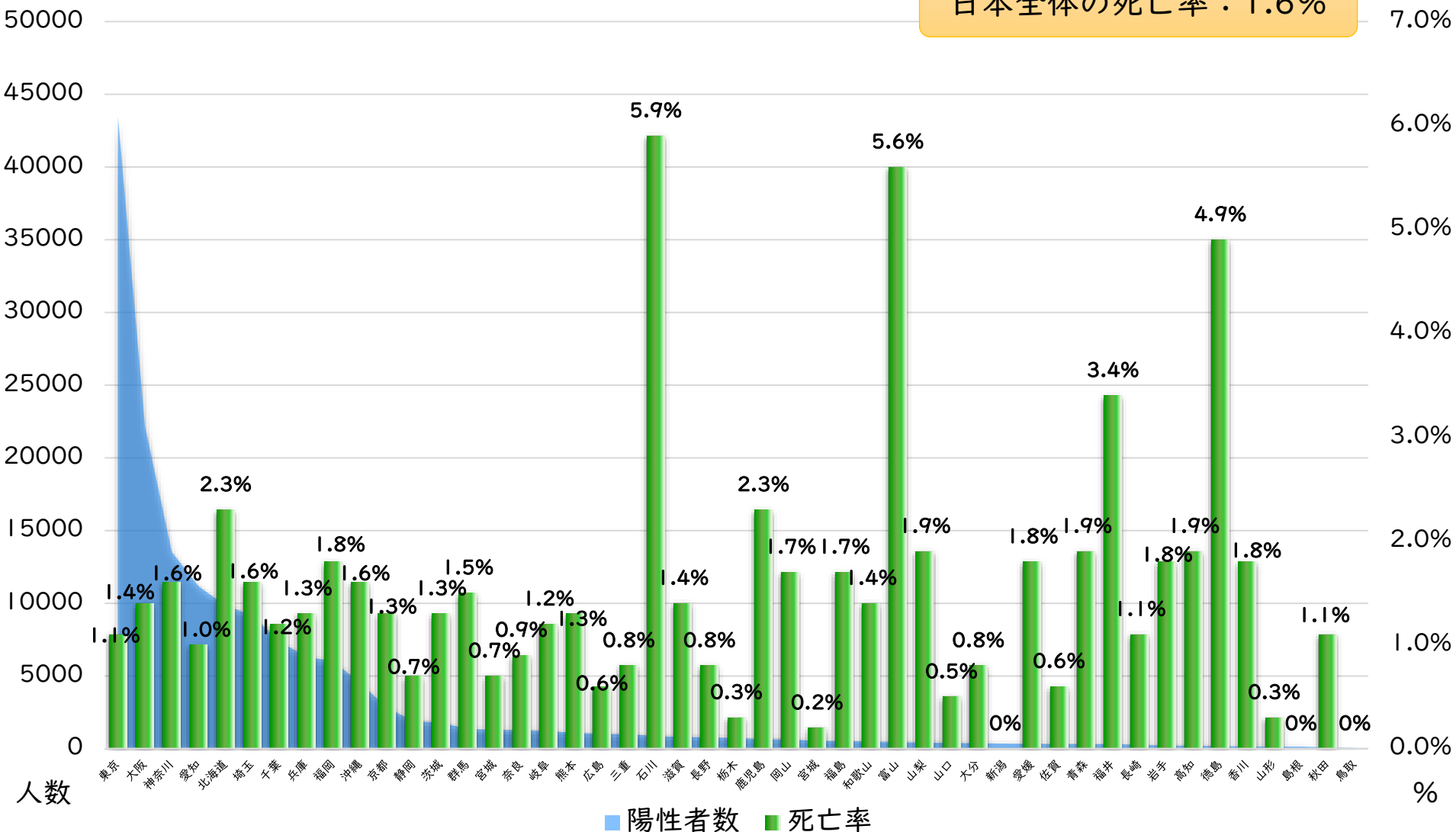
日付	北海道
3月15日	158
4月15日	313
5月15日	999
6月15日	1176
7月15日	1317
8月15日	1619
9月15日	1892
10月15日	2460
11月15日	5494
12月15日	11564

日付	沖縄
3月15日	3
4月15日	86
5月15日	142
6月15日	142
7月15日	148
8月15日	1557
9月15日	2296
10月15日	2825
11月15日	3739
12月15日	4844

日付	群馬
3月15日	5
4月15日	106
5月15日	147
6月15日	151
7月15日	161
8月15日	279
9月15日	567
10月15日	764
11月15日	956
12月15日	1708

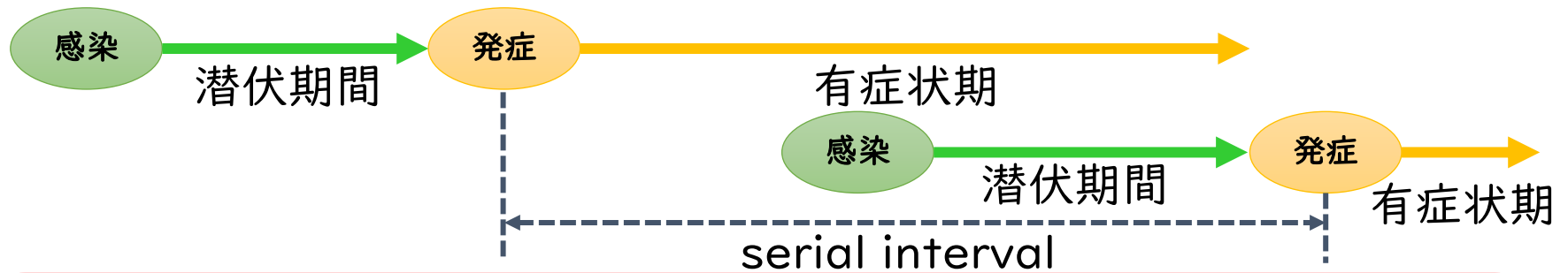
# 都道府県ごとの死亡率

日本全体の死亡率：1.6%

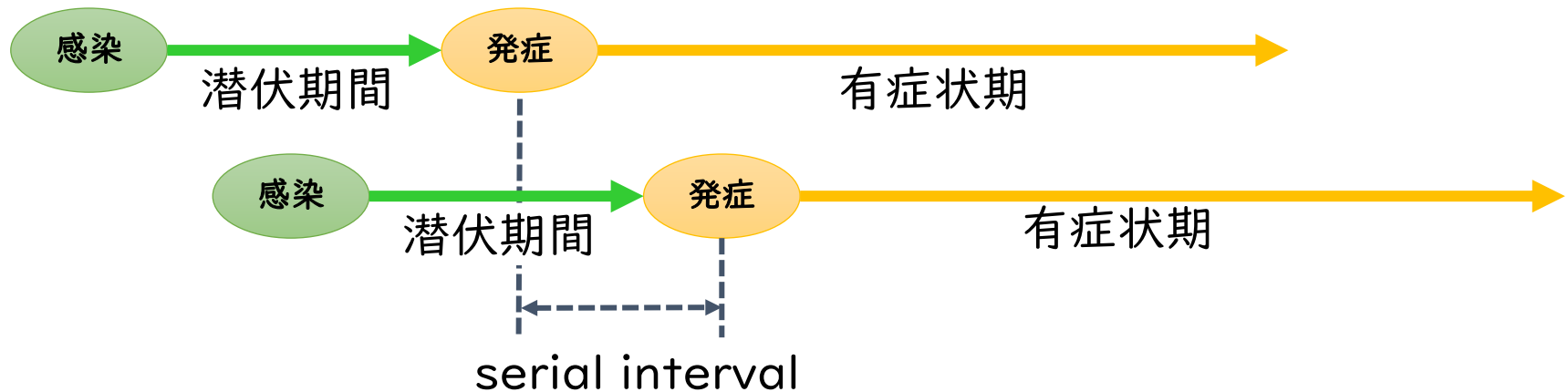


# 感染した日から発症まで

①発症してから感染性がある場合 (潜伏期間  $\leq$  serial interval)

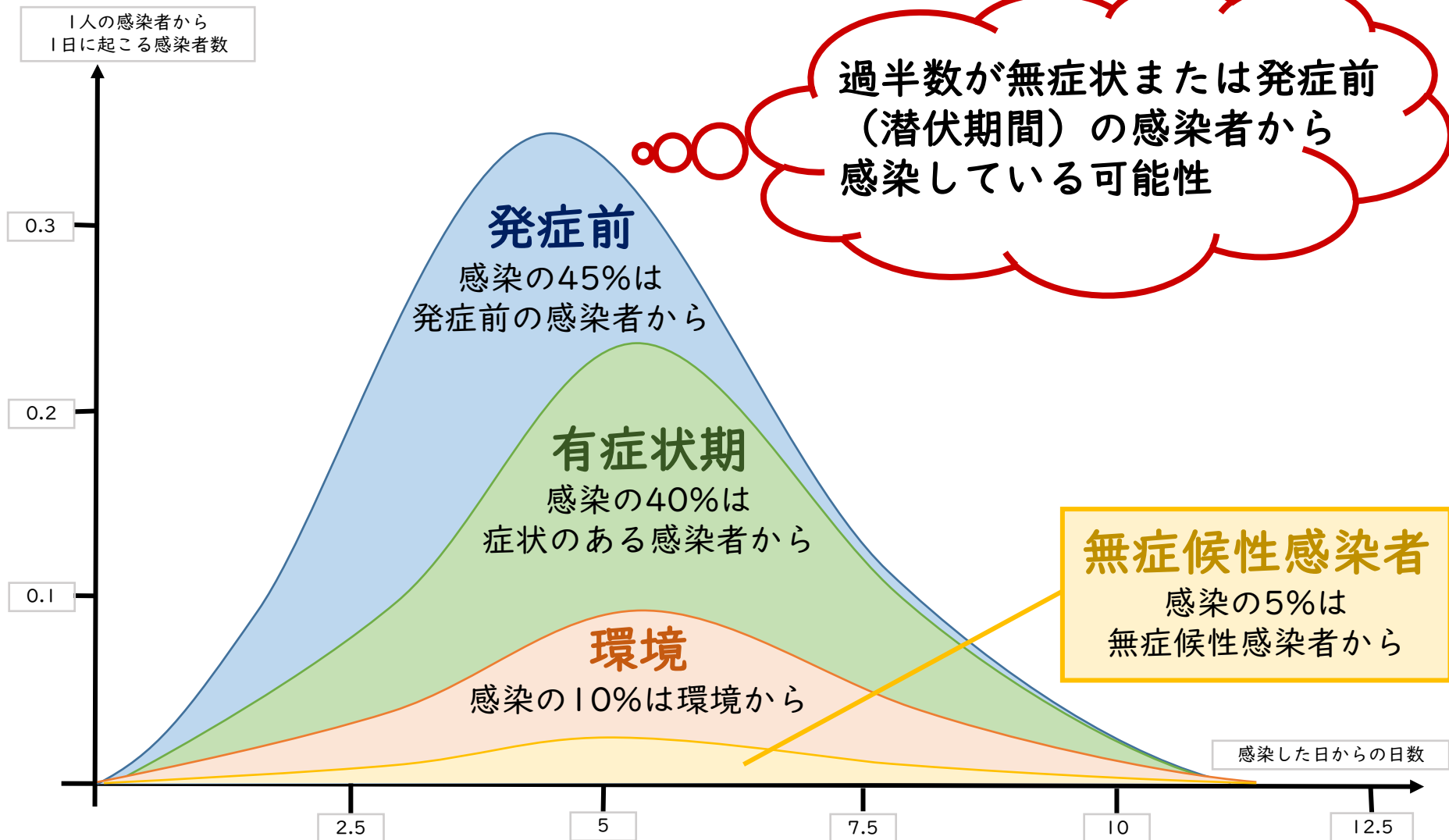


②発症前から感染性がある場合 (潜伏期間  $>$  serial interval)



\*serial interval : ある患者が発症してから次の患者が発症するまでの期間

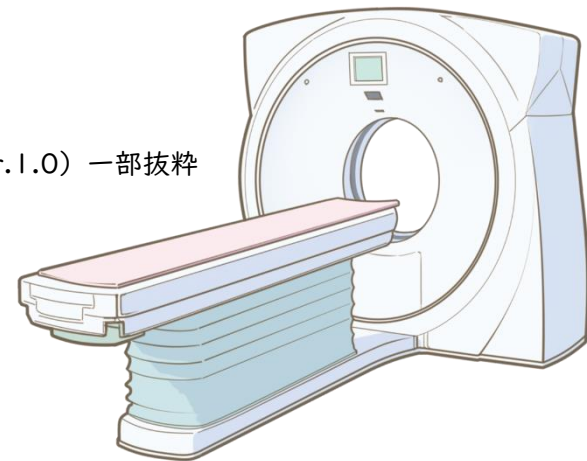
# 推定される感染モデル



# 画像評価

- 👑 COVID-19では高い頻度で肺炎を起こす
- 👑 胸部レントゲンでは肺炎を見逃す可能性がある
- 👑 肺炎を正確に確認するためにはCTが必要
  - ➡ 初期は片側性ないし両側性の胸膜直下のすりガラス影、背側または下葉優位
  - ➡ 円形が多巣性のすりガラス影
  - ➡ 進行するとcrazy-pavir patternやコンソリデーションなどの割合が増加
  - ➡ 器質化を反映した索状影の混在

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する胸部CT検査の指針（Ver.1.0）一部抜粋





# 検査

	PCR	抗原 (定性・定量)	抗体
	「今」感染しているか調べる		「過去」感染していたか調べる
長所	抗原と比べ感度が高い	検査時間が短い *1時間程度	個々の診断に使用するというよりも、地域の流行など公衆衛生上の対策に役立つ
短所	検査時間が長い *4時間程度	PCRと比べ感度が低い(特に定性検査)	
調べる	ウイルスの遺伝子	ウイルスのタンパク質	生体反応により体内で作られた免疫



# PCR陽性 = 感染性ではない

👑 ウイルスの培養（培養される = 活動性がある）

➡ 発症から8日目まで → 培養された

➡ 9日目以降 → 培養されなかった

👑 確定患者の濃厚接触者の感染

➡ 発症前または発症5日以内に接触した人 → 感染

➡ 発症から6日目以降に接触した人 → 非感染

👑 PCR陽性検出の中央値は20日といわれている

PCR検査はウイルスの遺伝子特定の領域を検出しており感染性の有無は判断できない



# 治療薬

一般名	商品名	薬効	対象疾患	副作用
レムデシビル	ベクルリー	RNA合成阻害薬	エボラ出血熱	急性腎障害 肝機能障害
デキサメタゾン	デカドロン	ステロイド	膠原病	誘発感染症
シクレソニド	オルベスコ	ステロイド	気管支喘息	発疹、掻痒感
ナファモス タット	フサン	タンパク分解 酵素阻害薬	急性膵炎 など	高カリウム血症 不整脈
トシリズマブ	アクテムラ	IL-6阻害薬	関節リウマチ	上気道感染
ファビピラビル	アビガン	RNA合成阻害薬	新型インフルエンザ	尿酸増加 好中球減少



# ワクチン・免疫

## 👑 ワクチン

現在様々なところで開発が進んでいる  
ロシアとイギリスでワクチン接種が始まった  
安全性や有効性には疑問が残っている

## 👑 免疫

終生免疫はできない可能性が高い

- ➡ ヒトコロナウイルスは繰り返し感染している
- ➡ ヒトコロナウイルスは同じ年に再感染を認めた
- ➡ SARSの免疫持続期間は平均3年



# 本日のお話

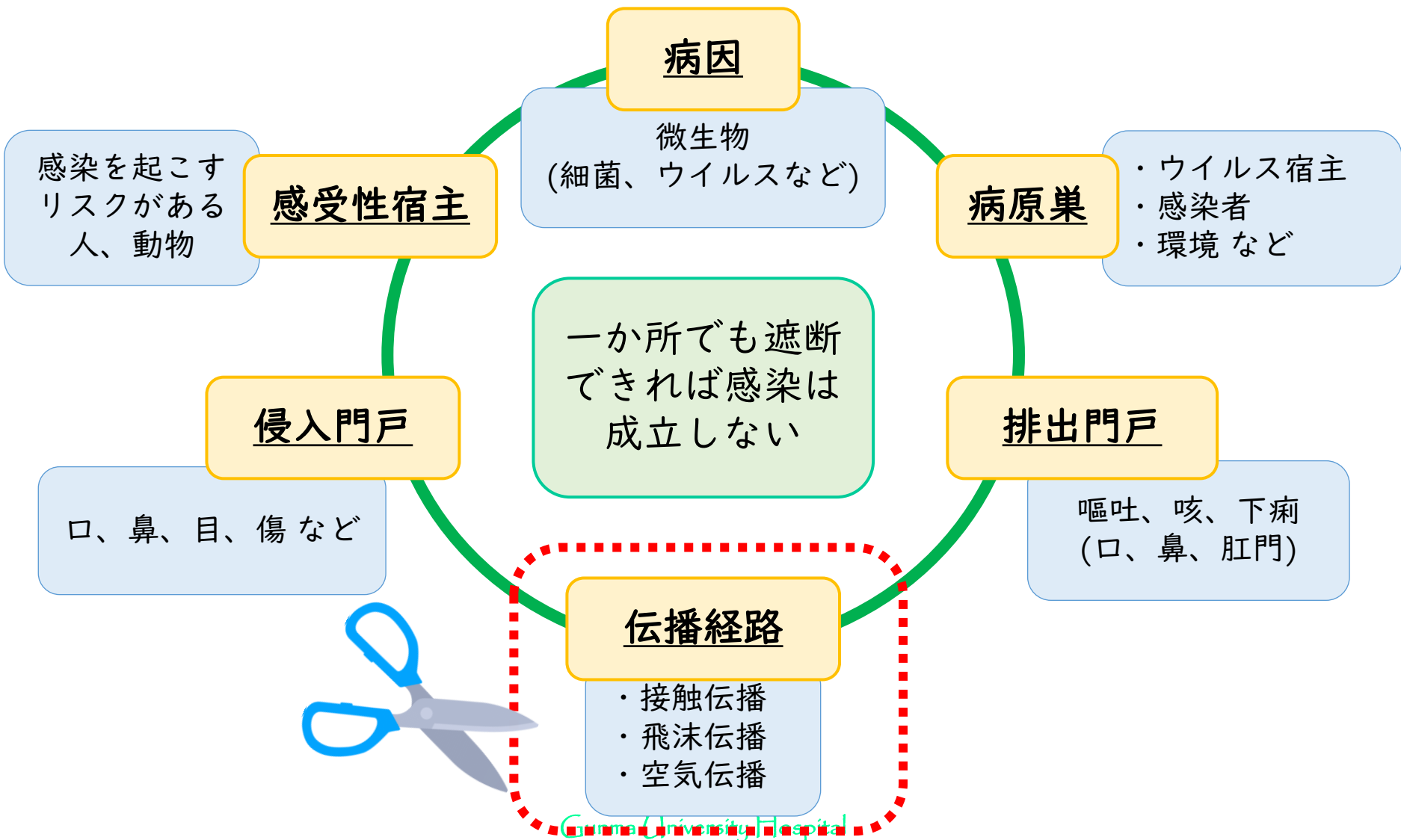
👑 新型コロナウイルス  
（COVID-19）の概要

👑 感染対策の基本

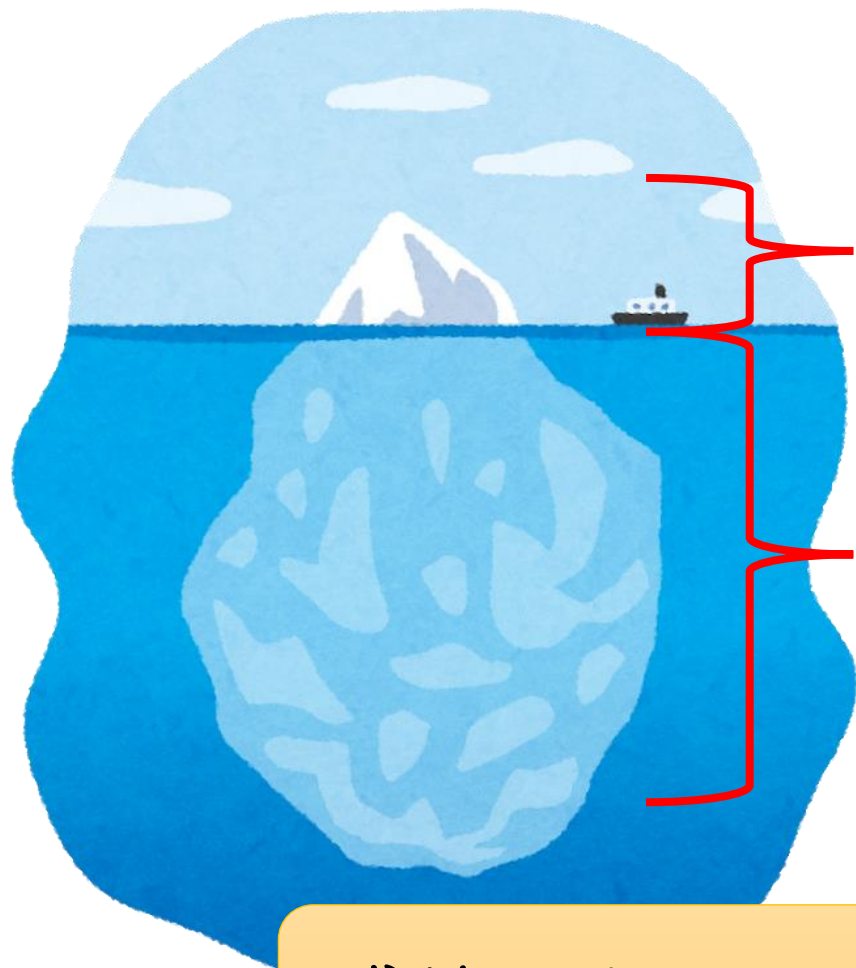
👑 COVID-19における感染対策

👑 日頃の備え

# 感染成立の連鎖



# 標準予防策の必要性



❖ 何らかの感染が検査等で分かっている人

❖ 検査をしていない人

❖ 症状が出ていない人

❖ 未知の感染症

感染が判明してからの対策では遅い

# 標準予防策 10の具体策

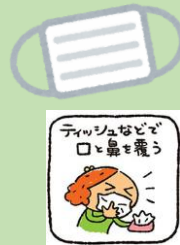
手指衛生



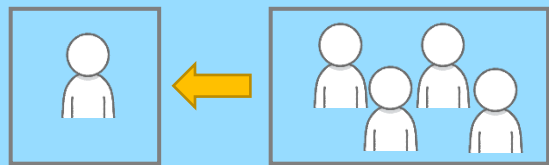
个人防护具(PPE)の適切な使用



呼吸器衛生  
咳エチケット



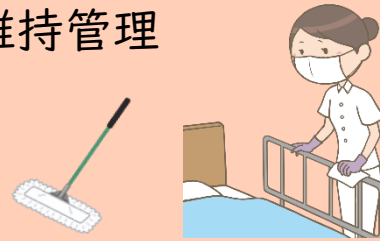
適切な患者配置



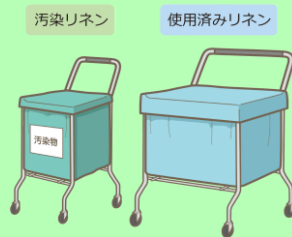
患者に使用した  
器材の取り扱い



環境の維持管理



リネン類  
取り扱い



安全な注射手技



腰椎穿刺における感染制御手段



労働者の安全





# 手指衛生5つのタイミング





# 訪問時の手指衛生のタイミング

- 👑利用者の居宅に入る前
- 👑利用者の居宅から出た後

➕ プラス

手指衛生のタイミング	具体例
利用者に触れる前後	車いすやベッドへの移動、検温 入浴・清拭、食事介助 など
清潔操作を行う前	歯磨き、食事準備、創傷処置 軟膏処置、点眼処置 など
体液曝露された可能性がある場合	オムツ交換後、吸引後、口腔ケア後



# 手指の正しい消毒手順



1 ジェル状の速乾性  
手指消毒剤を適量  
手の平に受け取る



2 手の平と手の平を  
擦り合わせる



3 指先、指の背を  
もう片方の手の平で  
擦る (両手)



4 手の甲をもう片方の  
手の平で擦る  
(両手)



5 指を組んで両手の  
指の間を擦る



6 親指をもう片方の  
手で包み ねじり擦る  
(両手)



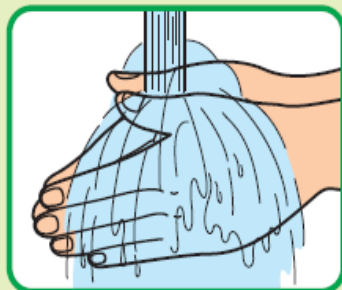
7 両手首まで  
ていねいに擦る



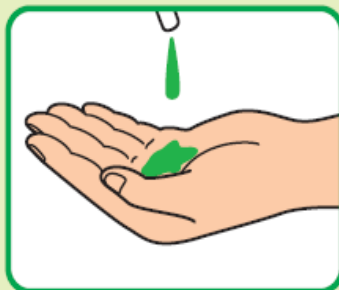
8 乾くまで擦り込む



# 手指の正しい洗浄手順



1 まず手指を  
流水でぬらす



2 石けん液を適量  
手の平に受け取る



3 手の平と手の平を  
擦り合わせ  
よく泡立てる



4 手の甲をもう片方の  
手の平でもみ洗う  
(両手)



5 指を組んで両手の  
指の間をもみ洗う



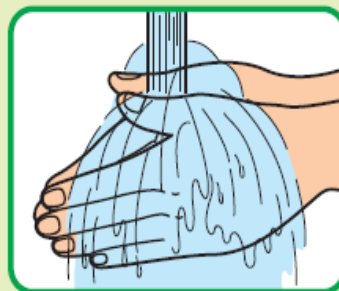
6 親指をもう片方の  
手で包みもみ洗う  
(両手)



7 指先をもう片方の  
手の平でもみ洗う  
(両手)



8 両手首まで  
ていねいにもみ洗う



9 流水でよくすすぐ

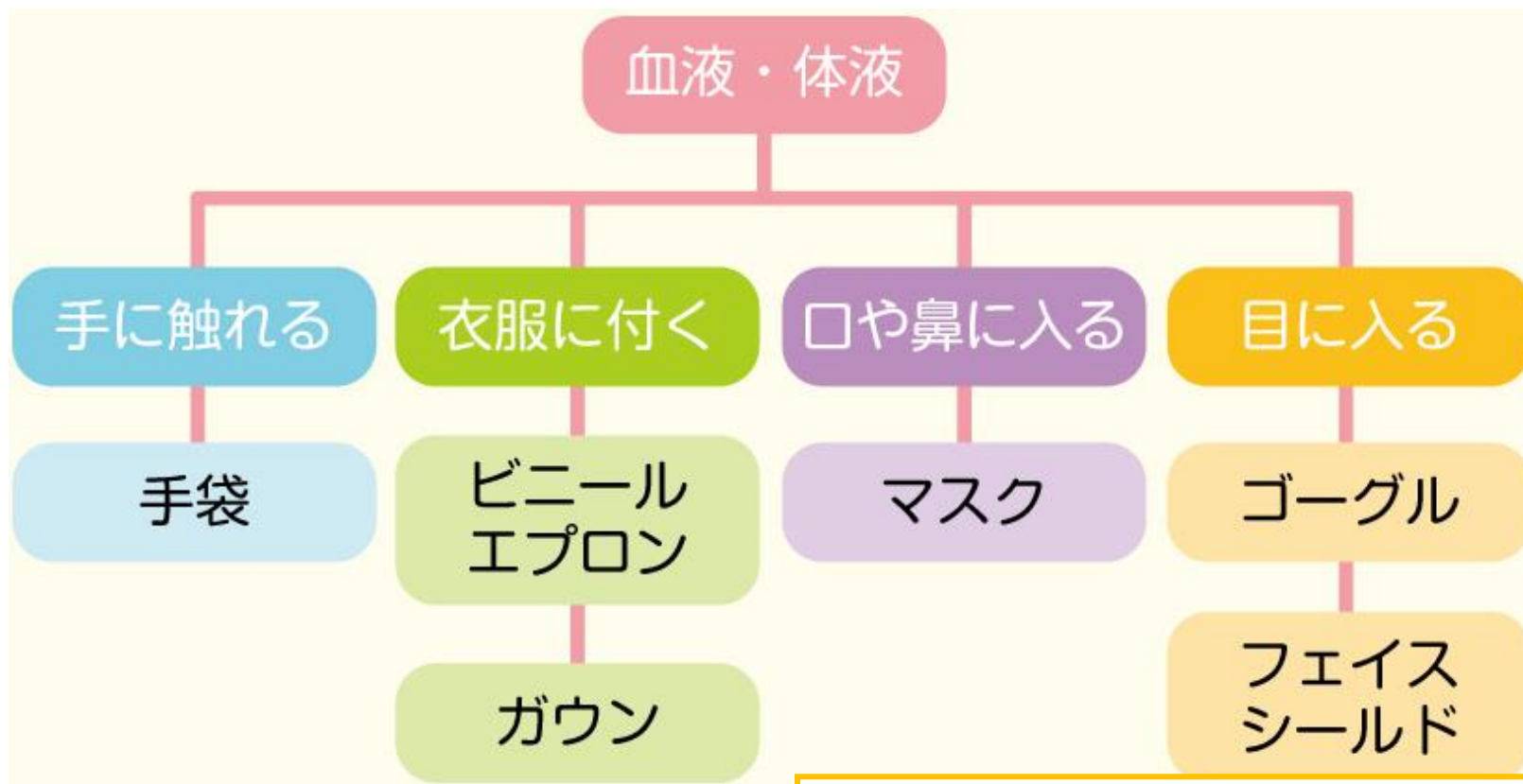




# 個人防護具(PPE)の適切な使用

PPEとは・・・

病原体から患者と自分を守るためのアイテム



- POINT 1 場面に合ったものを選んで選ぶ
- POINT 2 適切に着脱を行う



# 個人防護具を着る順番

着る順番

手指衛生



ガウン・エプロン



マスク



ゴーグル・フェイスシールド



手袋





# 個人防護具を脱ぐ順番

脱ぐ順番 **重要!**

手袋



手指衛生



ゴーグル・フェイスシールド



ガウン・エプロン



マスク



手指衛生



※  
汚染がある場合は  
手指衛生を  
追加しましょう





# 個人防護具毎の正しい脱ぎ方 手袋

## 外し方



① 片方の手袋の袖口をつかむ



② 手袋を裏表逆になるように外す



③ 手袋を外した手を反対の手袋の袖口に差し込む



④ 手袋を裏表逆になるように外す

使用後の手袋を外したら必ず  
手指衛生！





# 個人防護具毎の正しい脱ぎ方 ガウン・エプロン

## 外し方

①



首ひもをちぎる

②



汚染面が内側になるよう  
腰のあたりで折りたたむ

③



袖から両腕を抜く

④



適当な大きさにまとめ、腰ひもをちぎって外し、廃棄する

## 外し方

①



首ひもをちぎる

②



汚染面が内側になるよう  
腰のあたりで折りたたむ

③



適当な大きさにまとめる

④



腰ひもをちぎって外し、  
廃棄する



COVID-19  
CORONAVIRUS

# 個人防護具毎の正しい脱ぎ方 マスク・ゴーグル

## 外し方



表面に触れないように  
ゴムヒモを外す



表面に触れないように  
ゴムヒモを持って捨てる

## 脱ぐときのポイント



- ①外すときはゴーグルの耳の部分、フェイスシールドはヘッドバンドの部分をつかむ
- ②防護具の外表面、特に前面は汚染しているため触れないようにする



# 咳エチケット

咳、鼻水、または呼吸器分泌物の増加などの特徴を持った人すべてが対象

- ❖咳やくしゃみをする時はティッシュなどで口と鼻を押さえる
- ❖使用後のティッシュはすぐに捨てる
- ❖対象者はマスクを正しく着用する



# マスクの正しい着け方

## ①裏表を確認



立体型はマスク中央が前に出る方が表面

## ②ワイヤーを鼻の形に合わせてひだを伸ばし顎まで覆う

**1** マスクを顔に当て、鼻・頬のカーブに合わせてワイヤがある場合は折り曲げる



**2** 鼻からあごの下まで、マスクをしっかりと伸ばす



**3** 隙間がないように顔とマスクをぴったり付ける





# 不適切なマスクの着用



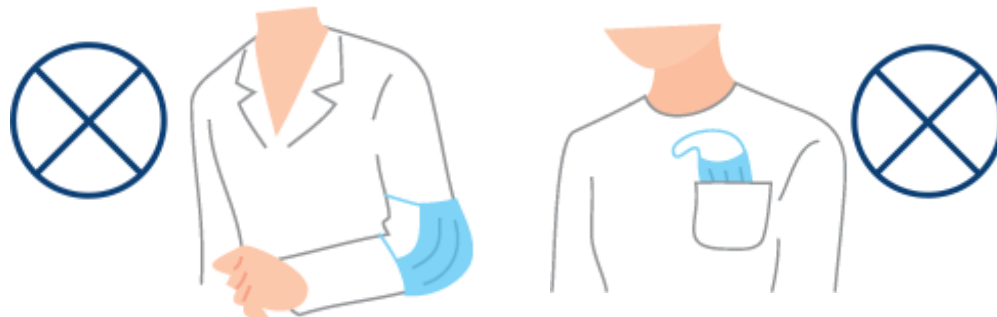
顎出し



鼻出し



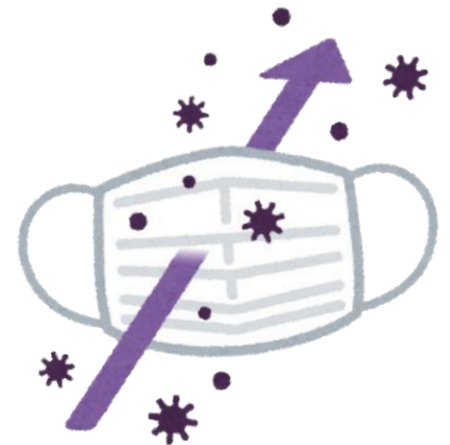
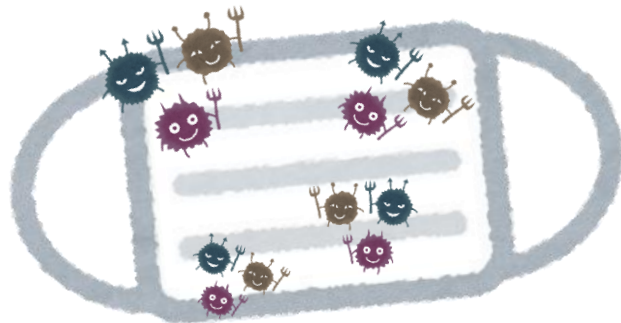
問題外



着用後外したマスクをこのように保管すると、  
自身の周囲やポケット内が汚染

# マスクの誤解

- ❖ 自分自身の感染予防（人からもらわない）になるという訳ではない
- ❖ マスクを着用した人が感染を予防できるというエビデンスはない
- ❖ マスクの表面は汚染されていると考え触らず、一時的に外す場合はゴムの部分のみに触れる
  - ※ウイルスが付着したマスク表面を触った手で、目や鼻を触り感染するリスクが増える



# 環境の維持管理

- ❖ 環境表面の汚染を無くし手指を介しての汚染拡大を防止する
- ❖ 埃や汚れを取り除き、病原微生物を増やさない
- ❖ 快適で安全な療養生活を過ごせるよう、安全で衛生的な環境を提供する

# 清掃のポイント

- 👑 ベッド柵や手すり、ドアノブなど人が頻繁に触れる **高頻度接触面** は、1日1回以上の清掃が必要
- 👑 血液・体液汚染がある場合、次亜塩素酸ナトリウムを使用し清掃
- 👑 水場の清掃は十分に水分を拭き取り、乾燥させる
- 👑 プライバシーに配慮する





# 標準と経路別予防策

接触感染予防策

飛沫感染予防策

空気感染予防策

## ＋ 経路別 予防策

(標準予防策に加えて行われる対策)

## 標準 予防策

すべての患者に当たり前に実施され、  
経路別予防策開始後も、常に行われている



# 本日のお話

👑 新型コロナウイルス  
（COVID-19）の概要

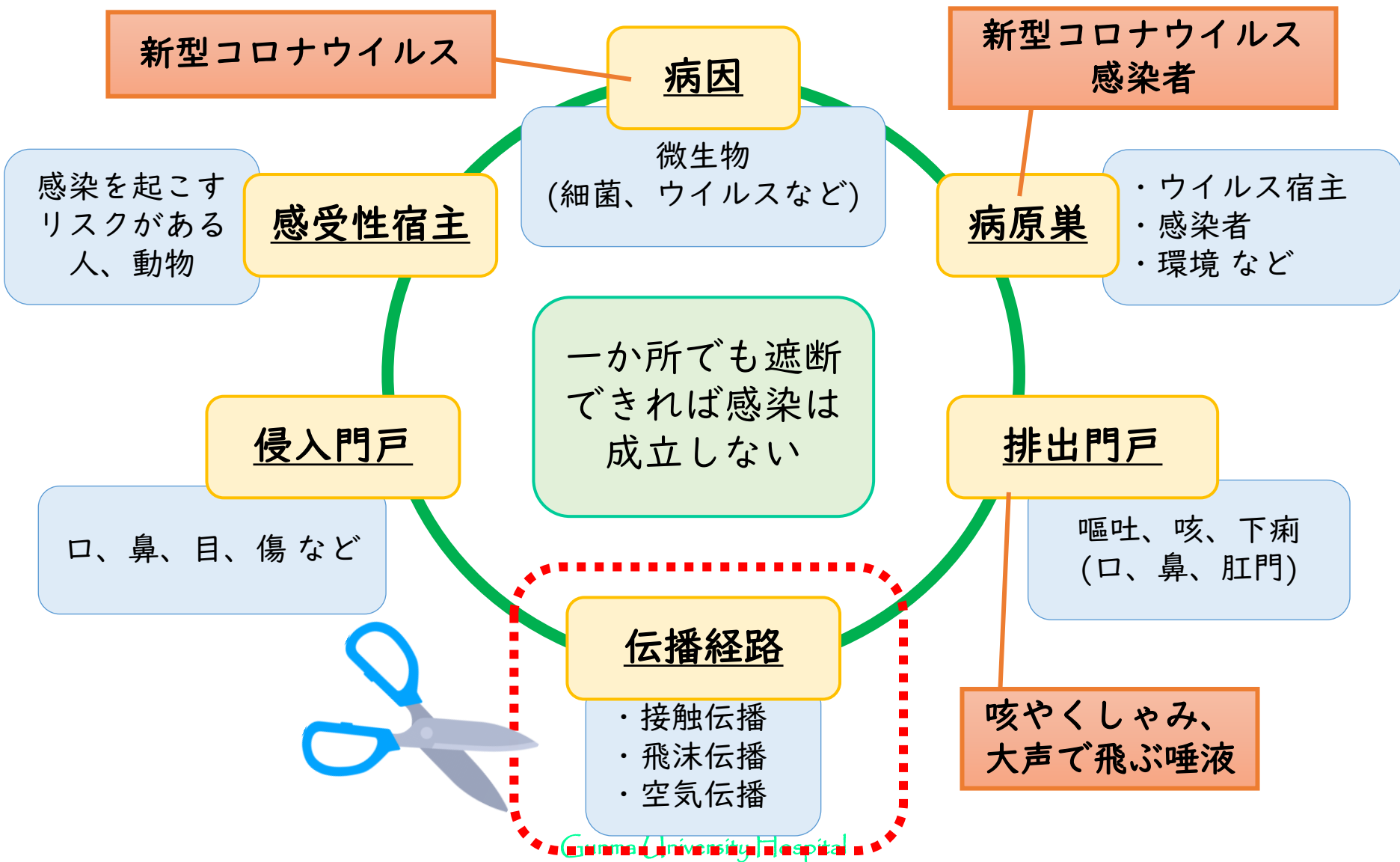
👑 感染対策の基本

👑 COVID-19における感染対策

👑 日頃の備え



# 感染成立の連鎖

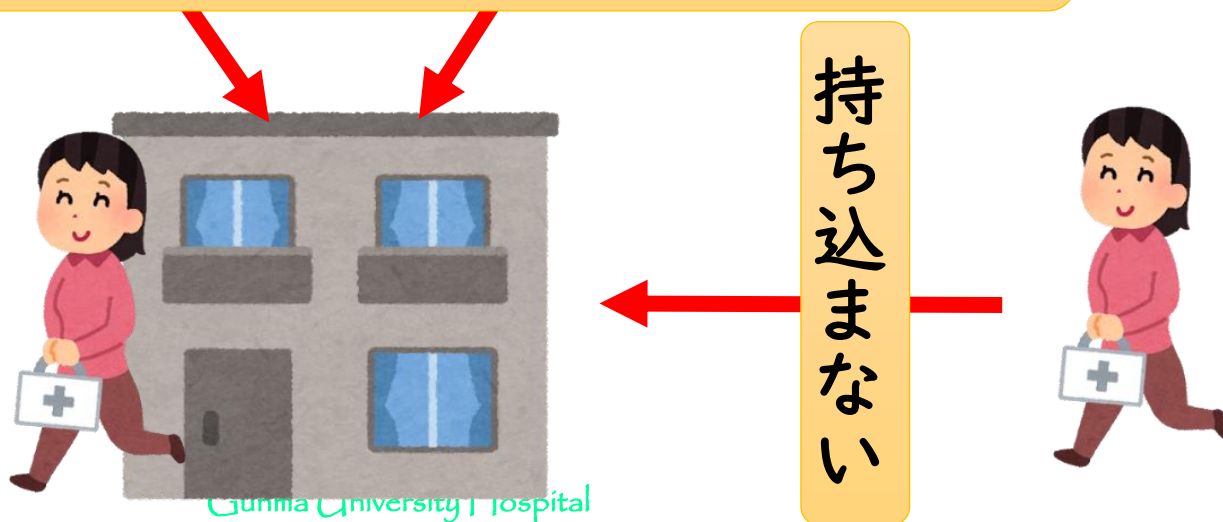




# 感染経路を遮断するために



持ち込まない、拡げない、持ち出さない



# COVID-19の感染経路

接触感染



飛沫感染

エアロゾルによる感染

# 接触感染

❖ 感染者の粘膜や体液などに、直接的に接触したことで感染

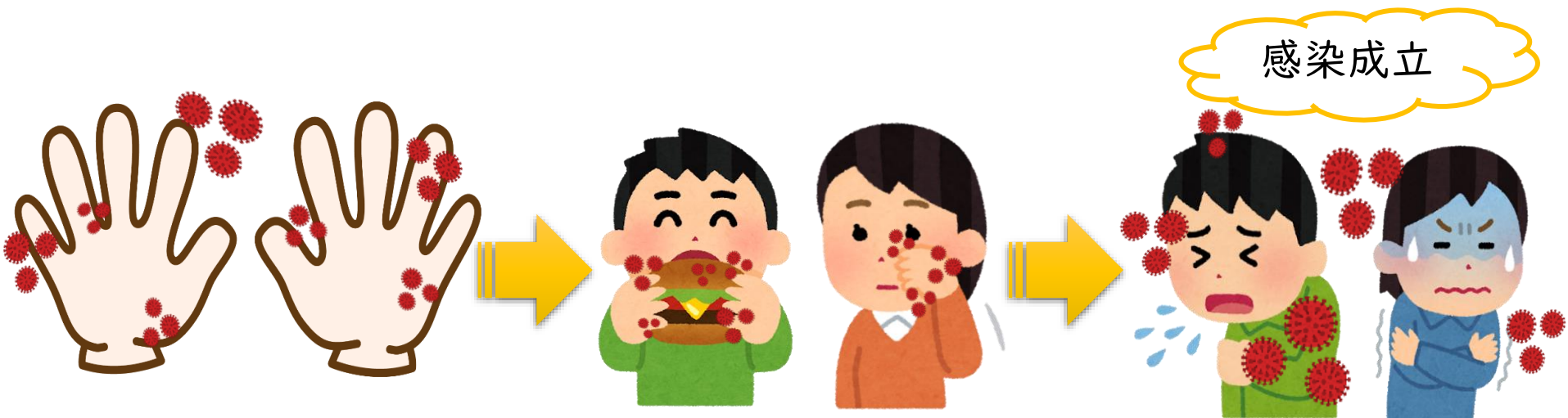
❖ ウイルスなどの病原体で汚染された物や場所に触れた手指などを介して感染



# 手の汚染

👑 ウイルスが手指に付着すると感染するのか？

- ➡ 健康な皮膚からウイルスが体内に入り込むことはなく、皮膚に付着するのみで感染はしない
- ➡ ウイルスがついてしまった手指で、粘膜（眼・鼻・口）を触ることで感染してしまう



# 感染経路を遮断し予防



- ✪手指衛生が最も基本であり、最も有効
- ✪COVID-19はエンベロープを持つウイルスのため、70%以上のアルコール消毒剤で15秒以上擦り込むことが大切
- ✪流水と石鹼の手洗いの場合、30秒以上の揉み洗いが必要





# PPE(個人防護具)の選択・着脱

👑手袋 (1重)

👑ガウン

👑N95マスク

👑フェイスシールド

👑キャップ



つなぎ型防護具は脱衣時、  
着用者の曝露リスクが高く  
使用していない



# 乾燥環境での感染性持続期間

菌名	最大期間
<i>Acinetobacter</i> 属	5か月
<i>Clostridium</i> 属	5か月
<i>P.aeruginosa</i> (緑膿菌)	16か月
黄色ブドウ球菌 (MRSA含む)	7か月
VRE	4か月
ノロウイルス	7日間

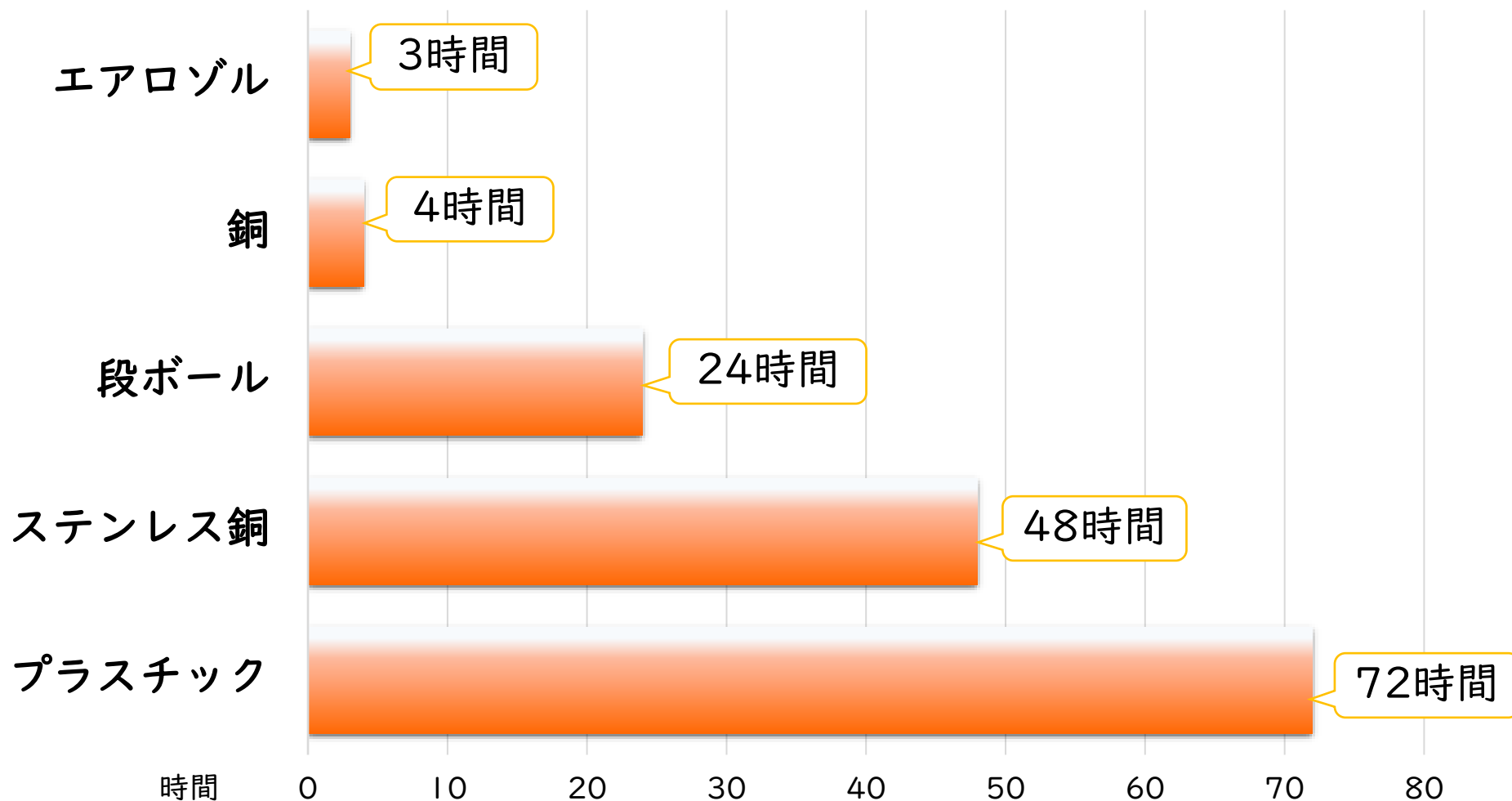
I Das et al. J Hosp Infect. 2002 Feb. <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC1564025/>

👑環境中ではウイルスと比べ細菌は圧倒的に長期間存在し続け、かつ細菌は生命活動を続けることができる

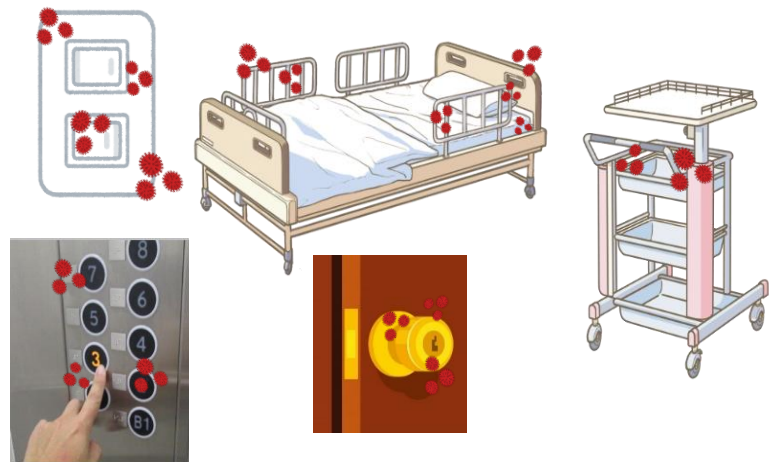




# COVID-19物質別最大残存時間



# 間接的感染源を遮断し予防



❖環境中のウイルスなどの病原体を放置し、新たに病原体が定着することで、単純に量が増え感染の機会が増える

環境清掃が大切です



# 環境消毒について

- 👑 アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウムが有効
- 👑 次亜塩素酸ナトリウムは0.05%以上の濃度が推奨
- 👑 標準予防策のとおり高頻度接触面の清掃が効果的
- 👑 スタッフ間で共有するPCやタブレットなど、使用後は必ず消毒をする





# 次亜塩素酸ナトリウム 使用時の注意点



調整時は換気の良い場所で、目や皮膚につかないように注意する

手指衛生には絶対に使用しないこと！



調整後の液をスプレー容器に入れ噴霧しないこと



金属腐食性があるため使用した箇所は再度水拭きを行うこと

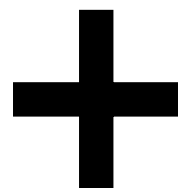


調整後の次亜塩素酸Naは保管せず、その日限りの使用とする



# 0.05%次亜塩素酸Naの作り方

次亜塩素酸ナトリウム  
(市販品：約5～6%)  
10ml



水道水  
1000ml





# 0.05%以上の次亜塩素酸 ナトリウムの調整方法

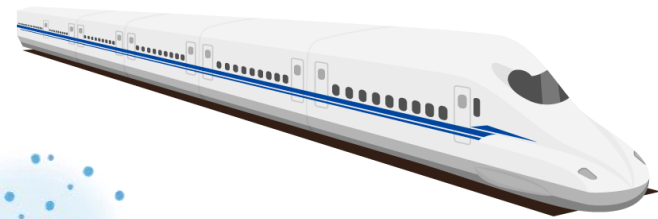
メーカー (五十音順)	商品名	作り方の例
花王	ハイター キッチンハイター	水 1L に本商品 25mL (商品付属のキャップ 1 杯) <sup>※</sup> ※次亜塩素酸ナトリウムは、一般的にゆっくりと分解し、濃度が低下して いきます。購入から3ヶ月以内の場合は、水 1L に本商品 10ml (商品 付属のキャップ 1/2 杯) が目安です。
カネヨ石鹸	カネヨブリーチ カネヨキッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
ミツエイ	ブリーチ キッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
ブランド名 (五十音順)	商品名	作り方の例
イオングループ (トップバリュ)	キッチン用漂白剤	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
西友 / サニー / リヴィン (きほんのき)	台所用漂白剤	水 1L に本商品 12mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
セブン&アイ・ ホールディングス (セブンプレミアム ライフスタイル)	キッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)

# 飛沫感染

❖ 病原体を含んだ鼻水や唾液、痰などの飛沫が、感染者の咳やくしゃみ、大きな会話などで飛び、目、鼻、口といった粘膜に付着することで感染

※COVID-19は唾液に多くのウイルスが含まれている

❖ なにも押さえるものが無かった場合、くしゃみや咳によって飛沫は時速300kmで2mくらい飛ぶ  
(速さだけではF1か新幹線並)



# 飛沫感染予防策

👑 飛沫感染は、飛沫が飛ぶ範囲で起こるため①距離、②時間、③障害物の有無により感染リスクが変わる

## ①距離

➡ 飛沫が飛ぶ約2mの距離を保つ

## ②時間

➡ 接触時間を短くしウイルスの曝露量を減らす

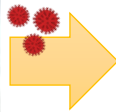
## ③障害物

➡ パーテーションやマスク、ゴーグル等で口や鼻、眼の粘膜に直接飛沫が付着することを防ぐ



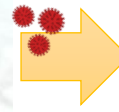
# マスク効果

感染者



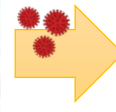
66.7%で感染

感染者



33.3%で感染

感染者



16.7%で感染

COVID-19を感染させたハムスターと感染していないハムスターを接触はできない同じ空間に入れ、感染が成立するか検証した結果



感染者がマスクを着用することが最も感染率が下がることが分かる



# マスクの着用

👑 アメリカ各州がマスク着用を義務づけたことの影響を調べた結果、45万人もの感染者を減少させたのではないかと推計された

アメリカ各州におけるマスク着用義務化と感染率の推移 (<https://doi.org/10.1377/hlthaff.2020.00818>)

👑 マスク着用による家族内感染予防効果を調べた中国の研究では発症した人が症状が出る前からマスクを着けていた場合は家族への感染を79%減らした

※ただし症状が出た後にマスクを着けても家族への感染は減らせなかった

マスク着用による家族内感染の予防効果 (BMJ Glob Health. 2020;5(5))

👑 マスクを着用することで重症化しにくくなるという仮説もある

ハムスターのマスクの有無による新型コロナの重症化の違い (Clin Infect Dis. 2020 May 30;ciaa644.)



# COVID-19感染対策のまとめ

## ①手をキレイに



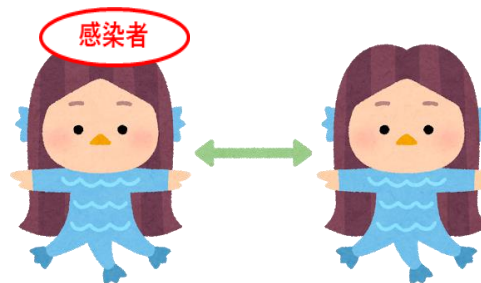
ひとつの行動前後に  
手指衛生

## ②環境をキレイに



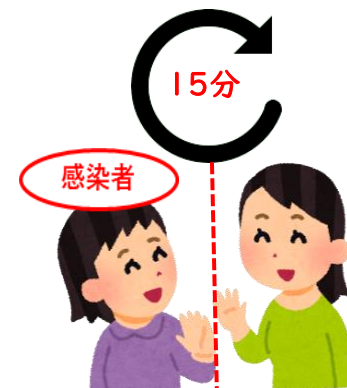
人が頻繁に触る場所や  
物は清拭消毒

## ③ソーシャル ディスタンス



一般的に2m  
最低1m距離を開ける

## ④接触時間を短く



濃厚接触の定義では  
15分以上

## ⑤マスク着用



飛沫を防ぐ、  
感染者のマスク着用

- ❖ 発症前から感染性があることが分かってきており、知らず知らずに自分（感染者）が他者に移さないために着用することが最も大きな目的
- ❖ マスクを着用することで自分自身が感染予防できるという根拠はない
- ❖ 相手（感染者）がマスクを着用していない（できない）場合、眼の粘膜を守ることも大切



# 空気感染に対し消極的な理由

- ✦ 空気感染を引き起こすために必要なエアロゾルの濃度やウイルス量について良く分かっていない
- ✦ 空気中から少量のウイルス遺伝子を検出した報告はあるが、活性のあるウイルスを検出したという報告はない
- ✦ COVID-19が飛沫核でも感染力を保つか分からない
- ✦ 3密空間で空気感染が起きた可能性が否定できないクラスター事例があるが、飛沫感染と接触感染によって起きたという説明も可能な状況

# WHOの発表

👑 基本的な感染対策を地道に続けることが重要

- ➡ こまめな手指衛生
- ➡ ソーシャルディスタンスの継続
- ➡ 人が密集した換気の悪い密閉空間を避け
- ➡ マスクを着用して他者に感染させることを防ぎ
- ➡ 換気や適切な清掃・消毒に努める必要がある

# 本日のお話

- 👑 新型コロナウイルス  
（COVID-19）の概要
- 👑 感染対策の基本
- 👑 COVID-19における感染対策
- 👑 日頃の備え



# 日頃の備え 職員

- ❖ 毎日検温を行い、発熱や感冒様症状、味覚・嗅覚異常がある職員を把握
- ❖ 家族に感冒様症状がある場合も、管理者へ報告・相談を行うようにする
- ❖ 常時手指衛生を徹底
- ❖ プライベートでも流行地域への移動は控える
- ❖ 3密になりやすい場所を避け、人が集まる場所に行くときはマスクを着用





# 日頃の備え 利用者・家族に対し

## 👑訪問前に情報共有を行う

➡利用者、家族の行動歴

(流行地域への移動があるか)

➡家族（同居者）の職場などで陽性者の有無

➡遠方の親族の訪問の有無と、居住地域

➡体調や体温の変化

## 👑訪問前に依頼しておく

➡訪問日のマスク着用

➡こまめな手洗い

➡定期的な換気



# 事業所としての備え

- ❖ 感染対策の責任者または担当者を決めておく
- ❖ 感染に関わる委員会を設置しておく
- ❖ 感染に関わるマニュアルやの策定や見直し
- ❖ 感染対策用品を準備
- ❖ 可能な限り、訪問前に利用者・家族に発熱等の症状がないか電話等で確認
- ❖ 発熱者などの情報を一覧にし、まとめておく
- ❖ 利用者宅への直行直帰体制の検討
- ❖ 予め、利用者・家族へ紙面等で事業所の対策を説明しておく

# 有事への備え

- 👑優先度の高い業務とそうではない業務を決めておく
- 👑訪問する利用者について、以下のように区分し速やかに対応できるようにしておく
  - ①従来通りの頻度で訪問するべき利用者
  - ②訪問間隔を調整できる可能性のある利用者
  - ③訪問を休止できる可能性のある利用者
- 👑スタッフに就業制限者が出た場合、運営における判断基準を設けておく（継続か縮小か停止か）
- 👑近隣の事業所や病院等と連携体制を確保し、必要時双方で協力できる体制を作っておく

# 訪問時の対策

## 👑手指衛生の徹底

👑マスクを正しく着用（自分自身、利用者、家族）

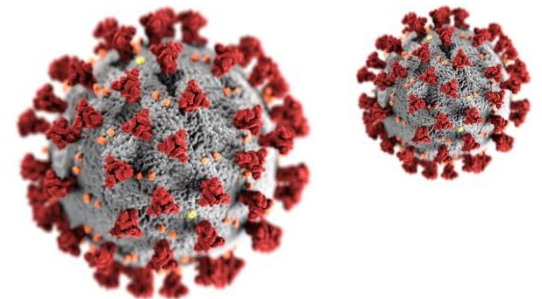
👑体液に触れる場合、個人防護具で保護する

👑吸引や口内ケア、尿等の廃棄などで目に体液が飛ぶ可能性がある場合、ゴーグルを着用する

標準予防策を理解し遵守する

# まとめ

- 👑 2019年12月に確認された新種のウイルス感染
  - ➡ 治療薬・治療方法の確立はされていない
  - ➡ ワクチンの安全性は確保されていない
- 👑 発症前に感染性のピークがあり、発症8日目以降には感染性が低下
- 👑 高齢者や基礎疾患のある患者で重症化する
- 👑 正しい知識を持ち感染対策の徹底ができれば、感染リスクは高くない





**sleep well**  
よく寝る



**eat well**  
よく食べる



**don't touch your face**  
目鼻口をさわらない



**wash your hands frequently**  
ひんぱんに手を洗う



**exercise**  
運動をする



**stay home when you're sick**  
かぜ気味なら休む



**cover your nose and mouth**  
鼻と口をおおう



**maintain social distancing**  
距離を取る

**感染予防のために、できること。**

All we have to do to prevent infection is simple.

## アンケートのご協力をお願いいたします

ご視聴ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症拡大の予防を考慮し、今年度開催予定のたておうの研修会は、尽く中止となりました。

そこで、動画配信による“医療・介護関係者の研修”を試みましたが、いかがでしたか？

今後の研修方法に活かしたいと考えておりますので、みなさまのご意見をお聞かせください。

### 1. 年代

20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

### 2. 性別

男性 女性

### 3. 職種

看護師 保健師 薬剤師 介護福祉士 介護支援専門員

社会福祉士 行政 その他( )

### 4. 現職の経験年数

1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満 5年以上10年未満

10年以上15年未満 15年以上

### 5. 今回の研修のテーマや内容はいかがでしたか？

満足 やや満足 どちらとも言えない やや不満 不満

### 6. 前問(5)のように回答した理由をお聞かせください。

### 7. 今回の研修の動画配信時間はいかがでしたか？

長い やや長い 適切 やや短い 短い

### 8. 動画配信タイプの研修会の参加はいかがでしたか？

参加しやすい 参加し難い どちらとも言えない

他の方法がよい(具体的に: )

### 9. 次回も動画配信を視聴したいと思いますか？

ぜひ視聴したい タイミングが合えば視聴したい 内容による どちらとも言えない

したくない

### 10. 今後、Web研修で実施してほしいテーマ・企画、またはご意見・ご要望等お聞かせください。

いただいた情報は、Web研修のご案内や研修内容の向上以外の目的では使用しません。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

◎お手数ですが、FAX(0276-73-0215)送信をお願いいたします。

#### お問合せ

在宅医療介護連携相談センターたておう

群馬県館林市苗木町 2497-17

TEL.0276-55-0118

FAX.0276-73-0215